

活動結果報告書

令和5年6月12日

越前市議会議長 吉田啓三 様

議員氏名 近藤光広

期 日 令和5年5月29日（月曜日）

日 程 別添

活動先 農協西部支店コウノトリ呼び戻す農法ほか別添

活動目的 越前市の有機農業・6次化の現地視察研修

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要

1 コウノトリを呼び戻す農法部会の取組みについて視察

場所 JA西部支店

説明者 部会 市農政課職員

概要 有機農業・環境調和型農業・生物をはぐくむ水稻栽培について意見交換

2 ブドウ畑・ワイナリー視察

場所 白山烏が平圃場・葛岡町ワイナリー工場

説明者 エイティーンズコーポレーション（株）西野恒樹会長 橋本智之社長

概要 有休農地の活用・農業の6次化について視察研修・意見交換

白山スイカ圃場だった有休農地(荒れ地)を整備し、ブドウの栽培を開始。ワイナリーを整備し、農産物の6次化を推進している。

令和6年2月には、ワイナリー横に地元食材を使ったレストランの併設を予定している。

3 明城ファーム視察《いちご・トマトハウス》

場所 真柄町

説明者 明城ファーム代表取締役 明城義和社長

概要 施設園芸の推進と農産物の6次化について視察研修

本年度イチゴの水耕栽培用の施設を増設する。H鋼ハウス 9m×51m×7連棟。

施設園芸農家だからこそできるイチゴを使ったパフェ店をオープンし運営。

さらに、令和6年2月には、自施設産トマトを活用したレストランのオープン

予定している。

4 ピロール農法視察

場所 越前市五分局町14-27 松村宅2階

説明者 株式会社エルゴン 黒田与作会長

概要 有機農業推進に欠かせない有機資材について研修

シアノバクテリア(ラン藻)を活用したピロール農法について研修。有機農業は土中の微生物の働きを活用し栽培しているが、その多くの場合乳酸菌など嫌気性微生物が主体となっている。シアノバクテリアは、好気性で光合成により酸素を排出することから植物の根詰まりに貢献する優れたバクテリアとのこと。

⇒視察先 1 コウノトリを呼び戻す農法部会の取組みについて

視察先 4 ピロール農法について

上記2件について、地元の市民、県民ですら知らない方がほとんどの状況にあるなか、産地の紹介も含めて広く県内外にPRしていく施策を提言していきたい。

特にピロール農法は、福井藩の時代から越前国ですでに行われていたとのこと。

議会からも新幹線開業の来年度以降特に、更なる後押ししていくお手伝いの必要性を感じました。

特に、北陸新幹線沿線の都市町にアピールしていく価値は大きいと思いました。

新幹線開業後に向けて、軽井沢との連携も視野に入れているなか、富裕層やインバウンドに向けて高付加価値を見出せる農法だと思いました。

議会からの後押しが図られるよう今後協力できるようにしていきたい。

⇒視察先 2 ブドウ畑・ワイナリー（エイティーンスコーポレーション（株））

視察先 3 明城ファーム《いちご・トマトハウス》

上記2件について、共に北陸新幹線 越前たけふ駅に近い場所に立地しているなかで、エイティーンスコーポレーションは、富裕層向けのレストランを新幹線開業に合わせて本社ワイナリー工場に併設する形で建設される旨。客単価3万円程度でせつていよていとのこと。洋食を中心にされるようだが地元産の食材をワインも楽しむ形でのコンセプトは誘客効果にも大いに期待が持てるものと思われる。しっかりPRに協力していきたい。

また明城ファームのハウスから収穫されたいちごを食できるパフェのお店もすでに認知度は高いと思われる中、トマトを活かしたレストランも新幹線開業に合わせてオープンする旨。さらには、ハウスでの収穫客を増やしていきたいところである。これも新幹線開業後の効果が出るようなPR等のサポートをさせていただきたい。

越前たけふ駅周辺に、さらに食と農に関わる施設、店舗が出来るような施策提言を
今後ともさせて頂きたいと感じた。



1 コウノトリ呼び戻す農法部
会の取組み視察



2 ブドウ畑・ワイナリー視察



2 ブドウ畑・ワイナリー視察



3 明城ファーム視察《いちご・トマトハウス》

4 ピロール農法視察

活動結果報告書

令和5年7月15日

越前市議会議長 吉田啓三 様

議員氏名 近藤光広

期 日 令和5年 6月 30日(金曜日)

日 程

- 10:00～11:30 ・ファーム広瀬 ワークステップひろせ(越前市広瀬町141-1-1)
- 12:00～16:00 ・しきぶ温泉「湯楽里」
- ・開発中の和お膳「コウノトリ御前」の説明（地域活性化起業人）
試食
- ・温浴施設を活用したグリーンツーリズム（地域活性化起業人）
- ・越前市森林活用の現状と可能性（住友林業）
- ※森林林業マスタープランの策定、森林環境譲与税の活用
- 16:00 終了

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要

議会産業建設委員会議員を中心に本市が総合計画で掲げた「有機農業プロジェクト」等について、次の取り組みを現地に於て事業の概要や取り組みについて視察研修した。

1. ファーム広瀬の取り組み概要

広瀬ファーム副組合長 畠中崇宏氏より説明

有機JASの認証 66.4ha 特別栽培米認証1(無農薬・無化学肥料) 18.4ha

総作付面積 106.4ha 二毛作含む(大麦・大豆・そば・野菜)

品種別(コシヒカリ・にこまる・あきさかり等)の反当りの生産費用を算出。この金額をコストし、売り上げを設定。法人組織と財務の健全化を図っている。

独自販売で、顧客からの信頼性の向上に努めている。

有機栽培の営農・栽培方法・技術の確立に努めている。

2. 地域活性化起業人の取り組み報告(温浴施設を活用したグリーンツーリズム)

(株)旅する温泉道場 神保正樹氏より説明

本市の農産物をコウノトリの物語性を付加するなど、来訪者が本市をより満喫できるよう磨き上げ内外に発信することをねらいとして、令和5年10月から2人を委嘱。

湯楽里では、式部御膳を開発中で試食をした。

他に、①LP（ライティングページ）サイトの開発・運用

②エコ・グリーンツーリズムモニターツアーの実施

③市内有機農産物の販売拠点の整備等に取り組んでいる。

3. ・越前市森林活用の現状と可能性（住友林業）

※森林林業マスタープランの策定、森林環境譲与税の活用について

出席 越前市議会

産業建設委員会 安立里美、土田信義、近藤光広、清水一徳、大久保恵子、

川崎悟司 畑勝浩、佐々木哲夫、橋本弥登志

中西昭雄元議員

住友林業

市環境農林部 川崎部長 農林整備課 高橋課長 篠原GL 松村技師

14:30 住友林業との意見交換（湯楽里）

住友林業グループ 岡田広之グループマネージャーから説明

概要説明（篠原GL）

- ・越前市森林活用の現状と可能性
- ・森林林業マスタープランの策定
- ・森林環境譲与税の活用について

市内3地域の森林について各議員より説明

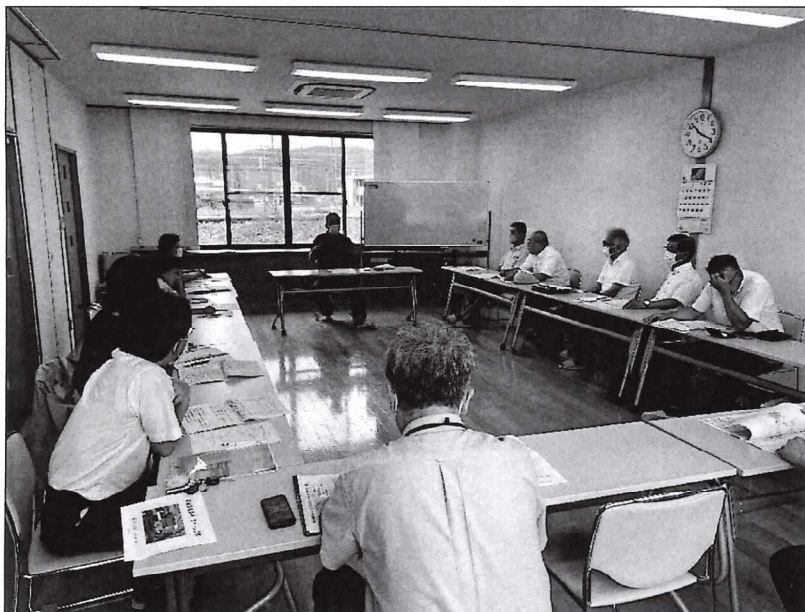
西部地区（橋本弥登志議員）市中央部（土田信義議員）

今立地区（佐々木哲夫議員）

⇒上記1. ファーム広瀬の視察では、有機栽培の営農・栽培方法・技術の確立化がいかに困難な積み上げや経験が必要か、想像していた以上に大変なことだと痛感させられた。需要の拡大化のお手伝いは議会、議員としても多少はお力になれるかもしれないが、供給の課題が多いと感じた。すなわち営農の拡大化には更に新規営農者を移住、転職者を含め更なる拡大化を図っていく重要な課題でもある。

上記2. 地域活性化起業人の取り組み報告(温浴施設を活用したグリーンツーリズム)についてでは、新たなグリーンツーリズムの取組みを新幹線開業効果に向け、先進地実績事例を基に今企業の取組みの説明受けるが、今一今後の数値目標なり効果が期待できる要素が十分伝わってこないところを感じた。今後に期待したいところである。試食の式部御膳については、盛り付け方、味、配膳順等の感想をアンケートに記させて頂いた。

上記 3. 越前市森林活用の現状と可能性（住友林業）については、これもまだ途中の段階なので、自身が関わっている茶臼山、岡本山の里山整備の件、視察含め検討してほしい旨の意見の交流をさせて頂いた。



ファーム広瀬 ワークステ
 プひろせ
 (越前市広瀬町141-1-1)
 畠中崇宏氏より説明



有機栽培圃場見学
 畠中崇宏氏より説明



(株)旅する温泉道場
神保正樹氏より説明



(株)旅する温泉道場
神保正樹氏より説明
式部御膳の先付け



旅行する温泉道場
 神保正樹氏より説明



住友林業グループ

[REDACTED]
 [REDACTED]

活動結果報告書

令和5年11月10日

越前市議会議長 吉田啓三 様

議員氏名 近藤光広

期 日 令和5年11月7日(火)
日 程 別紙視察（案）日程表参照
活動目的 ㈱村田製作所イノベーションセンター、源氏物語ミュージアム視察

最初に、京都府長岡京市にあるムラタイノベーションミュージアムの施設を視察。当施設のみの視察となりましたが、もともと最初の本社があった場所だそうで、記念館的な機能が色濃く、展示（会社の歩み等）が社内外の方も見学できるようになっていました。

社内の方々は、村田製作所が歩んでこられた歴史をしっかりと何度でも学べるように出来ており、ここで感じた中でのインスピレーションに期待しているのだそうです。さらに、村田独自の技術は他社や他国の企業には絶対に技術盗用されないようにされてきたそうで、頑ななまでに独自路線を歩まれてきた気概を感じ取れるようになっておりました。この施設をすべての社員の方はご覧になっておられると思いますが、村田イズムが十分肌から伝わってくる感がありました。

イノベーション機能施設がこの本社にもあり、以前に視察にお邪魔した横浜にもあり、そしてこれから建設しようとしている福井村田の越前たけふ駅前に建設予定のイノベーションセンターも、それぞれのテーマを持った形での建設になる由です。

越前たけふ駅前のイノベーションセンターは、当地で生産している積層セラミックコンデンサーに纏わる研究開発機能の旨。将来の越前市の発展にも、大いに寄与していただけるものと感じました。

次の視察先の宇治市源氏物語ミュージアムですが、年明けにいよいよ始まるNHK大河ドラマ「光る君へ」の舞台となる本家本拠地の施設です。想像していたより当時の様子が伝わってくる展示内容で、優美さと儚さそして式部の力強い生き方まで伝わってくるパワーを感じました。

これを見習い、年明けから始まる越前市と式部、そして源氏物語の関係性等の内外へのアピールをしっかりとしていかなければいけないと強く感じました。これからも議会でしっかりと提案や質問を重ねたいと思います。

越前市議会産業建設委員会所属議員視察(案)

期 日 令和5年 11月 7日 視察員数 7名 (越前市議会議員6名 市担当課長 1名)

場 所 ・榑村田製作所 ムラタ イノベーションミュージアム 長岡京市天神 2 丁目 26 番 10 号

越前たけふ駅前整備予定試験研究施設関連研修

・源氏物語ミュージアム 宇治市宇治東内45-26 大河ドラマ「光る君へ」を生かした観光誘客

費 用 概算金計 16,000 円 (JR 費用 11,500 円 タクシー700 円 昼食 2,500 円 手土産 1300 円)

武生駅	⇒	京都駅	⇒	長岡京駅	⇒	ムラタイノベーションミュージアム
8時16分発	→	7番線 9時34分着乗換				タクシー10分
サンダーバード8号		5番線 9時39分発 JR 快速	→	9時 50 分着		10時30分-11時 30 分

昼食	⇒	長岡京駅	⇒	京都駅	⇒	宇治駅	⇒
12 時 -12 時 50 分		13 時 09 分発 JR 京都線	→	2番線13時 20 分着		タクシー10分	
長岡京駅前				9 番線 13 時 30 分発 JR 奈良線	→	13 時 52 分着	

宇治市源氏物語ミュージアム	⇒	宇治駅	⇒	京都駅	⇒	武生駅
0774-39-9300		タクシー10分		16 時 35 分快速	→	16 時 51 分着
14 時 20 分-16 時				17 時 40 分発	→	18 時 53 分着
				サンダーバード 35 号		

活動結果報告書

令和5年6月1日

越前市議会議長 吉田啓三 様

議員氏名 近藤光広

期 日 令和5年5月24日（水）～5月25日（木）

日 程 別添

会 場 別添

活動目的 自主研修受講

研修内容は別添のとおりです。

研修の主たるテーマは『DX時代の地方創生～自治力を高める～』となっていますが、内容は多岐に渡っており参考にするべき点や今後の議会活動に活かす点も多岐に渡っているため、具体的な参考事例を掻い摘んで報告とさせていただきます。

まず、主催者の財団法人 日本自治創造学会 理事長 穂坂邦夫氏のメッセージからいくつか報告します。

- ・公立学校教育の権限は地方自治体にあり、その実施主体であり、責任を負っている。議員の間でも国の仕事だと誤解している方が多い。
- ・学校教育の骨格は国が作るが、そのうえで地方自治体が自分たちの事務として進める仕組みとなっている。

議員は首長や国に任せるのではなく、自分たちの仕事だという意識を持たなければならない。

- ・今、議員不足問題が指摘されている。学校の先生方には、児童・生徒が選挙権を得る前の段階から、もっと地方自治の仕組みを教えていく環境が必要。

（そのために議員が提案等すべきと理解した。）

- ・地方自治体は、国の仕事の下請け機関ではない。（自身が埼玉県志木市長時代に）国による規制に立ち向かおうと、何度も特区提案を行った。その後、特区制度を基に新しい制度が生まれた。（議員として市民のためになる事は、国、県といった枠で捉えてばかりでなく、真の地方分権に向かうための施策を深めていかなければならないと、改めて考えていく必要があると理解した。）

次に、「スマートシティの新たな挑戦」と題し、加賀市長 宮元 陸氏の講演からいくつか報告します。

・人口63,000人だが、年々人口減少している。観光地がたくさんあり、山代、山中、片山津温泉があり、大聖寺十万石の歴史と九谷焼、山中漆器といった伝統工芸もある。そんな市であるが、消滅可能性都市といわれている。人口も2040年に3万人程度と、現在の半分になる予測。

・これを打破するためにはどうしたらよいか。模索し辿り着いたのが、イノベーションが進化していく中、それに見合う人材を育てていく方向。それにより産業構造を変えていきそれに見合う人材を育てていく。加賀市成長戦略の2本柱は、「先進テクノロジーの導入」「人材育成」である。これを地道にやっていく他ない。

・昨年4月に「デジタル田園健康特区」に認定された。全国で5カ所しかない。それを利用して市民が個人の医療情報を引き出せる情報銀行をつくっていく。またNASAが大聖寺高校と人工知能の実証実験をしている。

子どもたちに平等に先端技術に触れさせようとしており、ロボレーブ国際大会にはNASAやJAXAから人が来てくれる。加賀市では将来的に先端企業の産業集積を目指している。

・日本の技術革新の遅れを、子どもたちの教育で変えていかなければならない。国任せの教育では覚束ない。幼児教育と初等中等教育を大胆に変える。画一的な教育ではだめで、市自らが創造力を生み出せる教育の方向転換を図る。

・シンガポールでは人への投資を徹底的に行っている。加賀市でも加賀式リスキングを一般財源で賄っている。しかし、加賀市だけがやっているのではダメで、全国の自治体でやっていただく方向で、議会からも執行部を動かしていただきたい。

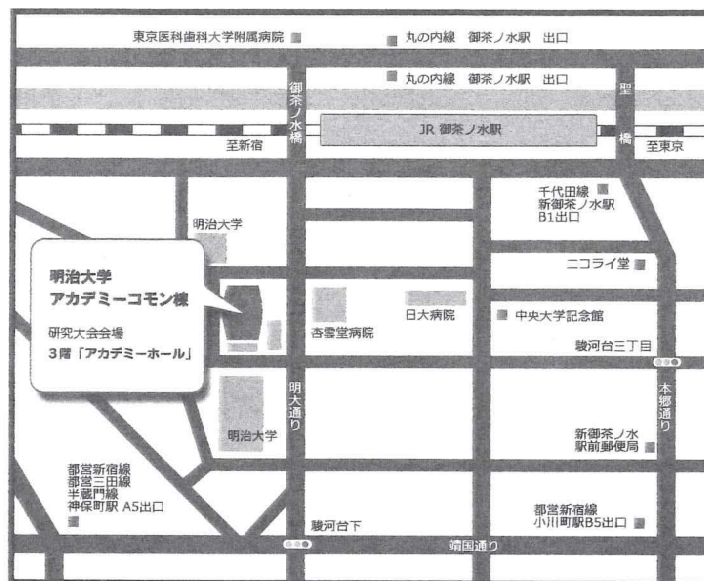
これからは、目に見えない価値に投資をしていくような行政でないとダメである。

⇒以上の内容から、越前市でもこのような改革は充分に参考となる点が多い。

特に幼児教育と初等中等教育の改革は市全体の改革となるためハードルも高く、至難の課題である。

但し、人材育成、教育の在り方、産業の捉え方等々参考とすべき点は多くあるので、執行部とも協議しながら改善策を見出していくことを模索していきたい。

会場のご案内



- JR中央線 「御茶ノ水」 徒歩3分 (御茶ノ水橋口を出る)
- 地下鉄丸ノ内線 「御茶ノ水」 徒歩5分
- 地下鉄三田/半蔵門/新宿線 「神保町」 徒歩8分
- 地下鉄千代田線 「新御茶ノ水」 徒歩5分

財団法人 日本自治創造学会
The Japanese Society for Local Democracy

理事長 穂坂 邦夫

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-24-301

(事務局)NPO法人地方自立政策研究所内

TEL 03-5846-9227

FAX 03-5846-9228

<https://jsozo.org>

E-mail:info@jsozo.org

第15回 2023年度 日本自治創造学会 研究大会

DX時代の地方創生 ～“自治力”を高める～

日時

2023年 5月24日(水) 13:00～17:30

5月25日(木) 10:00～15:05

場所 東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

参加費 会 員 13,000円 (年会費2,000円、2日間大会参加費・資料代含む)

※大学院生会員参加費 2,000円 (年会費、2日間大会参加費・資料代含む)

非会員 15,000円 (2日間大会参加費・資料代含む)

※大学院生非会員参加費 3,000円 (2日間大会参加費・資料代含む)

改革発表会 参加費:無料

主催 財団法人 日本自治創造学会

第15回 日本自治創造学会

研究大会 プログラム

■ 第1日目 5月24日(水)

12:00	開場・受付
13:00～13:10	大会挨拶 穂坂 邦夫 ((財)日本自治創造学会理事長)
13:10～13:50	講演 DX時代の日本の原動力を考える 益 一哉 (東京工業大学学長)
13:50～14:30	講演 社会インフラ管理の重要性と人材育成 石川 雄章 (㈱ベイスコンサルティング代表取締役社長・北海道大学客員教授)
14:30～14:40	質疑
14:40～14:50	休憩
14:50～15:40	事例発表 新たな議会の挑戦～議員政策条例の推進～ 田村 琢実 (埼玉県議会議員・元議長) 埼玉県議会へ問う"地方議会のあり方" 穂坂 邦夫 (日本自治創造学会理事長)
15:40～15:50	質疑
15:50～17:20	自治体事例発表 ～DX時代の個性あるまちづくり～ 教育と音楽とスポーツの個性あるまちづくり 清水 聖義 (群馬県太田市市長) スマートシティの新たな挑戦 宮元 陸 (石川県加賀市長) 「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち」を目指して 中村 一郎 (岩手県盛岡市副市長)
17:20～17:30	質疑
17:40～19:20	改革発表会 ～改革大発信・ベスト1の選出～

■ 第2日目 5月25日(木)

10:00～10:40	講演 地域の活性化と組織の自立・連携 渡部 晶 (財務省大臣官房政策立案総括審議員)
10:40～10:50	質疑
10:50～11:30	講演 出生率2.95 人口維持のまちづくり～町全体での子育て～ 奥 正親 (岡山県奈義町長)
11:30～11:40	質疑
11:40～13:00	昼 食 [12:35～(財)日本自治創造学会総会]
13:00～14:50	パネルディスカッション 自治力を高めるには パネリスト 牛山 久仁彦 (明治大学政治経済学部教授) 後 房雄 (愛知大学地域政策学部教授) 金井 利之 (東京大学大学院法学政治学研究科教授) 宮台 真司 (東京都立大学人文社会学部教授) コーディネーター 西出 順郎 (明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授)
14:50～15:00	質疑
15:00～15:05	閉会挨拶 牛山 久仁彦 ((財)日本自治創造学会理事・明治大学教授)

活動結果報告書

令和 5 年 4 月 1 7 日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 近藤 光広

下記のとおり報告します。

日 程 令和5年 4月16日(日曜日)～ 令和5年 4月16日(日曜日)

活動先 近藤みつひろたより 福井新聞折り込み

活動目的 越前市の取り組みや今後の政策を市民に伝える

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

配布業者 福井新聞折りこみセンター

支払金額 79,789 円

配布数 20,725 枚

内 容 別紙のとおり



越前市議会議員

近藤みつひろ たより

発行日：2023年3月

発行：近藤光広

(山田市長選挙公約タイトル)

共に切り開く！越前市の新時代！

6つの新時代宣言

宝ものあふれるふるさとをもっと輝かせるために

(9月、12月議会で進捗状況を確認しました)

令和4年9月議会 一般質問

①『千年の歴史をつなぐ文化県都宣言』

越前市の誇るべき歴史を市民が共有し、後世につなぐため「文化県都」を宣言しユネスコの「創造都市ネットワーク」へ登録。越前市を世界にアピール。

質問 文化県都としての具体的政策は。

回答 越前市の国府、府中の積み重なった歴史に基づく芸術文化、歴史文化、産業文化、生活文化、そういったものを地域の活力として紫式部の大河ドラマ等のタイミングを見計らいながら例えば創造都市ネットワーク日本への登録といったものとあわせもってインパクトのある方法で進めていきたい。

質問 それでは、さらにユネスコ創造都市ネットワークへの登録も目指していけばいいかと考えるが、どれだけの月日が必要か。

回答 ユネスコ創造都市ネットワークへの公募から認定に係る結果発表までは、約半年間の月日が必要。これまで認定を受けた金沢市はじめ10都市の先例では、取組のスタートから5年程度を要して加盟されているということがあるので、現在検討段階で文化県都宣言を皮切りに今後取り組んでいきたい。

質問 それでは、この取組の今後の予定は。

回答 今回の補正予算でも、紫式部プロジェクト事業として紫式部公園修景整備費5,000千円、イベント運営2,000千円ほか8,187千円予算計上した。特にユネスコが世界の偉人に選出した紫式部なので、今後新幹線開業時と期を同じになる紫式部の大河ドラマの放映と相まって、しっかりとした文化活動を通じ移住人口、関係人口、交流人口を拡大し、文化県都形成に向け取り組んでいく。

②『楽しく元気なまちづくり宣言』

駅の周辺に産官学共働の異世代交流キャンパスの整備、若者が楽しめるショッピングモール、多目的スタジアムを誘致

JR武生駅と新幹線越前たけふ駅の2つの核を次世代交通システムで連絡。

質問 ここにはいろいろな魅力的な施設が掲げられている。

また、市長所信の中にも、研究施設やホテル、商業施設等の26社にトップセールスを行っている旨。現段階で、今後造られる可能性の度合いは。

回答 26社のトップセールスの内訳は、先端研究施設関連企業8社、ホテル、飲食施設関連企業が5社、商業物流施設関連企業が4社、食と農関連企業が2社、次世代交流拠点関連企業が7社で、現在関心を示していただいている企業と立地に向け進めている。

質問 多目的スタジアムの中身を説明頂きたい。

回答 スケートボードとかBMXなど、アーバンスポーツを楽しめるような施設の誘致が出来ないか、様々なところに働きかけを行っている。

質問 駅周辺に産官学協働の異世代交流キャンパスの整備は、所信でも示している研究関連施設等の誘致かと思うが、官と民でどのよ

うな形で進めていくのか示してほしい。

回答 次世代交流拠点の整備は、先端の研究施設の立地が進むことで関連する企業や研究者等のビジネスパーソンの利用が見込まれる。次世代交流拠点の整備手法は、商業施設等との一体的な整備とか公共の費用負担の可能性も視野に入れ、今後秋にもスタートさせる庁内の研究会の中で研究していく。

質問 市長のトップセールスでの人脈や営業で、新たな企業と繋がったことがあるのかどうか。

回答 現在進めている中で、市長、副市長ともども県の東京、大阪、名古屋の事務所や県人会や同級生等々、あらゆる繋がりから、今後も誠心誠意対応していく。

質問 若者が楽しめるショッピングモールとの宣言に対し、商業施設等の企業の方とはそのようなイメージの話はあるのか。

回答 現在協議中の企業は、県外での複数の施設運営実績を有しており、若者を含む様々な年代にフィットしたテナント実績があるので、進出の可能性について協議検討をしている。

質問 JR武生駅と新幹線越前たけふ駅の2つの核を次世代交通システムで連絡とあるが、現況の考えは。

回答 デマンド型の実証実験もしたうえで、開業後は当面タクシーやシャトルバスで対応。長期的視野では、オンデマンドの自動運転車、小型モビリティとの共同利用等交通システムの動向を見ながら研究していく。

③『未来産業都市宣言』

新幹線越前たけふ駅、武生IC周辺に脱炭素、宇宙産業技術の先端研究センターを整備。これを核に国・県と連携し、新たな公営産業団地を整備。

質問 これらの計画の現況は。

回答 宇宙産業技術の先端研究センターに関係する企業に対し、トップセールスを行いながら誘致を行っている。脱炭素の取り組み方針は、企業側と協議を行っている。その他の整備も検討中である。

農業は越前市の重要産業。電気柵や防除ネット、AI、ドローンなどを組み合わせたスマート農業を推進、公共事業による鳥獣害対策を提案。

質問 これらの計画の現況と、公共事業による鳥獣害対策を提案とは。

回答 農業人口減少の中、スマート農業推進は今後も図っていく。中山間地の鳥獣害対策での国からの支援は、資材の購入だけでなく設置の支援等もしてもらえるよう要望し、今後とも中山間の農業を守るため、公共も関与していく方向が必要と考えている。

令和4年12月議会 一般質問

④『すこやか人生百年宣言』

高齢者の通院や買い物の足の確保・「元気カフェ」を設置し介護保険からの運営経費の支出を国に提案。

質問 高齢者福祉対策は、市長の公約で言われた「すこやか人生100年」の目的の一つに健康長寿の実現があると思います。フレイル予防にどう取り組んでいくのか。

回答 市総合計画「100年人生健康で長寿プロジェクト」に盛り込み、例えば健康プログラムを市内事業所に推奨を行う。また地域包括支援センターと協力して、筋力低下や認知症予防など、一人ひとりへの対応を図っていく。

質問 高齢者の通院や買い物の足の確保についての取り組みは。

回答 市民バスや路線バスの再編、ドア・ツー・ドアの需要増に対応可能なデマンド型交通への転換による、地域交通の最適化に向け取り組んでいく。

質問 坂口地区でのデマンドバスの実証実験の現状と、今後の方向性は。

回答 今年（令和4年）10月、自家用有償旅客運送の運転に係る国土交通大臣認定講習会を開催し、12名が受講された。

今後詳細検討後、令和5年には運行し令和6年度の本格運用に繋げていく。

デマンド交通は観光やビジネス需要など新幹線の二次交通にも活用できるため、総合計画のチャレンジプロジェクトに位置付けし、積極的な支援や他の複数の地域への広がりを図っていく。

質問 介護保険からの運営経費の支出を国に提案とあります。特にデマンドバス運用等の運用経費の支出を国に求めることかと思うが、今後の取り組み方針は。

回答 地域の公共交通機関の概念が変わっていかねばならない。運輸行政は規制が多くある分野で、規制を緩和しながらその部分に国費なり県費なりを同時に考えていかないと、地方の方でうまくいかない。その実態をしっかりと国に伝えて、政策を作ってもらえるように働きかけていく。

ふるさと納税を財源に「子育て応援基金」をつくり、3歳から小学校入学まで子ども一人当たり月5,000円を「ふるさとこども手当」として支給全域に子どもの安心遊び場づくりなど、教育・健康・福祉の充実。

質問 「子育て応援基金」について、今後どのように活用し未来に続く子育て・教育に繋げていく考えか。

回答 策定中の総合計画案には「こどもまるごと応援基金」の名称で記載し、支援策として子ども医療費の窓口完全無料化をはじめ、子どもの遊び場や就学前教育・保育施設の充実など、地域で安心して子育てできる環境の整備を想定している。こどもまるごと応援基金事業108,786千円として、3月議会に補正予算に上程された。

⑤『共に生きる、つながり創出宣言』

全世代の女性の活躍とゆとりを応援する、「女性生き生き委員会」を設置。

質問 全世代の女性の活躍とゆとりを応援する「女性生き生き委員会」を設置とあるが、この会の実績等の説明を。

回答 「女性生き生き委員会」は本市の女性の活躍を一層推進し地域の活性化を図り、社会参加する上での悩みや支障等の課題を様々な場所で気軽に意見交換や情報共有を図っている。令和4年8月には結婚などを機に県外から移住された女性メンバーでの1回目の会議を開催し、活発な意見交換が行われた。

質問 策定中の総合計画案には「女性生き生き委員会」での要望はどのように反映しているのか。

回答 主な要望として、「若者や移住者が住んで楽しいまちづくりを」「子育てが終わり働く場所が少ない」等が出た。総合計画案では、「まちなかでの居住支援とにぎわいづくりを創出」「高齢者、女性、外国人市民、障がい者などの多様な労働者の働きやすい環境づくり」として反映している。今後も女性が社会の中で生き活きと輝けるよう、取組を進めていきたい。

異文化交流サテライト整備によるグローバル共生社会の実現とその人材の育成

質問 今後に向けての取組の考え方は。

回答 「異文化交流サテライト」は外国人市民と日本人市民が気軽に交流できる場として、市国際交流協会の設置を想定。さらに学生などの若い世代を中心に、国籍を問わず世界の文化に触れあうことのできる場を増やし、将来的には次世代交流施設へのサテライト整備も議論しながら、グローバル共生社会の実現を目指す。

⑥『財政再建と危機管理強化宣言』

「借金体質の見直し」

質問 借金体質の見直しとあるが、この1年でどう変えたのか。成果はどのような形で現れたのか。

回答 関西学院大学大学院の小西教授（現、総務省地方財政審議会会長）にご意見をいただいた結果、本市の企業立地促進補助金による将来負担比率が大きいことが課題の一つとして挙げられた。これを教訓に、越前たけふ駅周辺に進出する企業に対しては基金を創設して企業立地促進補助金を交付する予定で令和4年8月策定の中期財政計画にも組み込んだ。

また、市債発行の抑制にも取り組んでおり、今年度当初予算では、令和3年度予算に比べて、市債発行予定額を8億8千万減額し、将来負担比率の低減に努めている。

質問 今後、越前たけふ駅周辺整備や老朽化した公民館の耐震改修など、起債をせずに大型事業を実施していくことは難しいと思うがどうしていくのか。

回答 越前たけふ駅周辺開発は、次世代交流拠点施設や周辺道路などのインフラ整備については市が担う部分も生じてくる。また、各地区公民館の耐震化や設備の改修なども控えており、市の各種施設整備を国県補助金や一般財源だけでは賄うことは出来ない。したがって、市債も活用していくことになるが、将来負担比率を抑制するために、市債の償還金に交付税措置があるものの活用を基本とし、償還額を下回る発行にとどめるなど、プライマリーバランスの黒字を保っていく。

質問 物価高騰等経済的影響を受ける市民の救済措置が、国、県の財政支出でも不十分な場合、市の財政支出に対する今後の考え方は。

回答 本年度は当初予算から12月補正予算まで国の財源を活用しながら、議会のご理解のもと、状況に応じた適切で切れ目のない様々な事業を十分に実施してきたものと認識している。今後も世界情勢の影響などによる様々な事態に備えておく必要があると考えている。国や県の動向を確認しながら、本市の状況に応じた適切な予算措置に努めてまいりたい。

「万全な新型コロナ対策」

質問 この1年間の新型コロナ対策や防災等の危機管理に対する取組み成果と、総合計画に明記した新たな課題と対策は。

回答 私（市長）は危機管理に対して、最初動の強化、情報収集の一元化と市民への情報発信を最重視して取り組んだ。新たな総合計画の策定にあたっては、チャレンジプロジェクトに「安心安全で強靱なまちづくりプロジェクト」を掲げて検討している。プロジェクトの中では、交通の結節点としての立地特性を持つ北陸新幹線越前たけふ駅周辺エリアに、中・長期的な視点で、防災機能の強化を図り、地域防災体制を充実する。また、8月の大雨を踏まえ、老朽化した水防倉庫の集約整備や資器材の充実、主要幹線の消雪設備の整備、洪水防止のための河川改修事業などの対策を進めていく。今後も頻発化する自然災害に備え、災害に強いまちづくりを進めていく。

「市民との対話の徹底」

質問 総合計画策定に活かせるような市民との対話は十分取れていると考えているか。

回答 私（市長）が市長就任以来、市民と対話できる機会を沢山いただき、直接意見交換してきた。ミーティングでは説明するというより、意見を聞くということとした。今後ご意見等を市政運営に活かし、幸せを実感できるふるさと、ウェルビーイングの越前市に繋げていきたい。

現在2期目（会派 郷働）

- ・議会運営委員会委員長
- ・産業建設委員会委員
- ・南越消防組合議会議員
- ・公立丹南病院事務組合議会議員

皆様のご意見をお待ちしております

■自宅 〒915-0836 越前市野上町1-41-2 080-6363-3038 FAX 0778-42-5214

Mail : yumejitugen0778-22-3727@m2.gmob.jp

活動結果報告書

令和 5 年 4 月 2 7 日

越前市議会

議長 吉田 啓三 殿

議員氏名 近藤 光広

下記のとおり報告します。

日 程 令和5年 4月14日(金曜日)～ 令和5年 4月14日(金曜日)

活動先 近藤みつひろたより 2023年4月発行

活動目的 越前市の取り組みや今後の政策を市民に伝える

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

印刷業者 伊部印刷株式会社

支払金額 168,300 円

印刷数 20,800 枚

内 容 別紙のとおり

配布業者 株式会社福井広報センター

配布数 2,500 枚



令和5年3月議会 一般質問

新幹線新駅開業に向けての観光誘客について

質問 令和5年度当初予算の観光誘客の取り組みの概要は。

回答 ①紫式部プロジェクト 242,000千円 ②認知度向上事業 12,779千円 ③インバウンド推進事業 4,215千円 ④北陸ディステーションキャンペーンに向けたプロモーション 5,300千円 ⑤二次交通の確保 10,000千円

質問 本市への観光客が市内回遊して宿泊して頂くプランは。

回答 本市の宿泊施設収容人員数は1,337人で県内9市で最も低い水準で収容人数が不足している状況である。

宿泊施設の誘致・拡充による収容人員の増加や、周辺市町に宿泊する観光客を誘客する仕組みづくりを検討する。

質問 広域観光で、特に丹南5市町周遊観光コンテンツを市町協働で行う必要があると思うが見解は。

回答 丹南地域では「1500年の文化を感じる旅」として、伝統産業に触れることが出来る旅を想定している。幅広く県内一円を含めたツアー造成を、市観光協会と連携したルートづくりをし、県や県観光連盟等に働きかけていく。

質問 新幹線新駅がある越前市の山田市長が、今こそリーダーシップを発揮して丹南一帯の観光誘客に向けて進めていかなければいけないと思うが、具体的方策は。

回答 丹南地域は「越前」をイメージする素材（地名、食材等）があるので、本市がリーダーシップをとって丹南5市町が連携し誘客の相乗効果が図れると考える。

市観光協会職員の研修、5市町のPR動画を作成していく等で、本市が丹南市町及び各観光協会に働きかけていく。

質問 新幹線新駅からの二次交通を、丹南一帯で捉えていくことが効果的で優先すべきでは。

回答 今年度実施した二次交通需要調査では、越前たけふ駅からの観光客の移動はタクシーやレンタカーが中心になる旨。

朝夕の乗降客ピーク時対策は、ハピライン武生駅や福武線たけふ新駅間で、ジャンボタクシー等での運航を検討している。

質問 丹南一帯の、自然の豊かさで、グリーンツーリズムの戦略を示してほしい。

回答 市内は、湯楽里をハブにして白山、今立地区の農産物の食材利用や農村体験に誘う滞在型のグリーンツーリズムのスキームを考えている。

質問 新幹線開業に向けた、観光客向けの商品開発の現状と見通しは。

回答 令和5・6年度は「紫式部関連商品・サービス開発支援事業補助金」や、「紫式部PR商品パッケージ作成事業補助金」で商業振興を図る。2月に聞き取りしたが、前向きな事業者が多かった。いずれも6月末申請締め切り、8月上旬に審査し採択・不採択を決定したい。

質問 紫式部ははじめ越前市を活かした市民の活動を、市からしっかりと押し上げてほしいが見解は。

回答 市民の文化活動は、市文化協議会、源氏物語アカデミー、武生国際音楽祭のほか、最近では幻想曲「式部（篠田洋先生作曲）」の復活の動き、式部と武生をつなぐ古代歌謡の旋律再現など、市民の文化活動の高さを改めて感じている。様々な市民の方々の表現できる舞台創出を図り、文化県都宣言都市としてのイメージアップに繋げていきたい。

質問 神社仏閣のきわめて多い越前市に、癒しを求める観光客が訪れやすくなる為、寺院や神社の協力体制の構築は、御朱印事業の実績を踏まえ更に発展出来ないものか。

回答 歴史文化資源である神社仏閣は本市を代表する観光資源の一つとして位置づけ出来る。御朱印事業でも参画寺社数も20から35に拡大した。今後の観光誘客にこの事業で形成された活動を活かしていきたい。

質問 私が数年前から提案してきた、例えば前田利家で金沢・越前市物語でつないでいく戦略等、北陸新幹線駅間物語で観光誘客を図る戦略提案をしてきたが、残念ながら先に高岡市や宇奈月温泉でこの戦略をしていきたいと金沢市との連携の記事が、つい先日富山新聞、北國新聞のトップの記事に掲載があった。私としては実施していくとしても、二番煎じの悔しさがこみ上げているが、この件に対する見解は如何なものか。

回答 金沢や富山を訪れた観光客を呼び込む広域観光の取組の一つとして、令和5年度に「府中城下町」を活用した連例事業が出来ないか、高岡市、金沢市、そして各観光協会を訪問し協議していく。

コメント

私も協力していくので、観光誘客に向け待ったなしの状況の中で、いち早く構築できるよう全力を挙げてほしい！！



越前市内の情景を求めて誘客（上野谷憲示先生作品集）

令和5年3月議会 補正予算

質問 小学校営繕工事285百万、中学校営繕工事176百万円の5年度工事に向け資材高騰の対応は。

回答 県の情報、市場調査参考に予算設定し、余裕を持った工期で対応していきたい。

質問 放課後子ども教室推進事業での合宿通学事業△1,721千円の理由は。成果も好評な事業のなかで、コロナ禍明けの新年度はしっかり実施しては。

回答 コロナ禍で事業を見送った地区も6地区あった。地区によっては1泊2日または日帰りを実施した。

子どもの育成成果として好評の為、今後コロナ禍の影響が緩和されてくると思うので、各地域合宿通学を主に再開を図っていきたい。



道路新設改良費について

質問 上太田～岡本町地係の旧広域農道の4車線化が進んでないため、測量設計委託料△51,000千円、土地取得費△47,000千円であるが、住民の要望も踏まえ進めていると思うが今後の進捗は。速やかに懇切丁寧な説明、意見交換が必要かと思うが如何か。



2000年沖縄サミット（各国首脳への土産品）

友人と私とで提案⇒源氏物語アカデミー⇒外務省は岡山市と越前市を採用⇒越前和紙、紫式部の文鎮、式部行幸の絵柄の風呂敷セット⇒圓鋐先生作の貴重な文鎮は「紫ゆかりの館」で現在も購入可能

回答 各地係区長様はじめ住民の方と進めているが、道路の横断等使い方でも合意に至っていないため、引続き次年度も県と市で対応を図っていきたい。

その他の質問項目

質問 森林環境譲与税基金事業 △11,613千円について

質問 中小企業融資事業 △3,500千円について

質問 伝統産業育成支援事業 △2,400千円について

短期職人塾生(5名)から長期職人塾生(10名)への転向や、実際に越前市で就業に至る職人を増やす努力をしてほしい。

更に受け入れ枠拡大含め県と連携して、今後つながりが太くなる東京圏へもしっかり募集を呼びかけて頂きたいが。

回答 次年度は芸術系大学への広報も広げていきたい。

質問 越前打刃物海外販売拠点強化事業支援補助金 △1,500千円について

質問 土砂災害危険住宅支援事業補助金△5,944千円について

質問 河川改修工事で緑越明許になっている件について

質問 合併処理浄化槽設置整備事業補助金△11,178千円について(全市で74基予定が実績52基)

令和5年3月議会 令和5年度当初予算

移住・定住化促進事業 8,959千円について

質問 下見活動等含め移住に係る支援メニューで、東京圏からの移住初期支援額(単身600千円、世帯1,000千円)に対し東京圏以外からの移住(県内は除く)世帯100千円となっている。

越前市が人口10万人を本気で掲げるのであれば、東京圏以外の移住者にも市からの支援を更に手厚くすることも必要かと思うが。

回答 県内全体の移住人口の占める割合は福井市40%、越前市20%と2番目に多いが、関西、中京圏からの移住者も多い中、支援内容も今後トータルで検討していきたい。

武生図書館創立100周年記念事業&かこさとしふるさと絵本館10周年記念事業 268千円について

質問 武生図書館は県内でも最も歴史ある図書館で、かこさとしふるさと絵本館も県外客の来訪が多い。

それであれば、この2館は来客・利用者の多い中央公園エリアにあり、紫式部公園までのふるさとを偲ぶ散歩道の動線上に立地しているので、今後新幹線開業に向け県内外誘客にむけしっかり情報発信し、市外県外の訪問者をさらに増やす発信力の強化が必要。

回答 コロナ禍前は、かこさとし絵本館は70%が県外の方で占めていた。今後も県内外の来館者増を目指しSNS等で発信していく。

その他の質問項目

質問 庁内情報システム管理事業232百万円について

問・要旨 予算金額多い中どのように活かされているか、もっと市民に伝えるべき。

質問 自主防災組織育成事業2,539千円について

問・要旨 自主防災組織の方々にも避難行動要支援者の個人情報共有するため、個人情報の取り扱い方に十分な配慮の指導をするべき。また、更なる避難行動要支援者の洗い出しや、避難行動支援者の確保をお願いしたい。

産業建設委員会

質問 補助道路維持改修事業176,200千円について

問・要旨 紫式部公園に繋がる「ふるさとを偲ぶ散歩道」の維持改修工事の内容確認及び、安全性向上及びベンチの増設を含めた改修の要望をする。

質問 単独公園整備事業10,747千円について

問・要旨 村国山芦山公園等整備工事10,000千円について、都市公園としての規制もあるなか、市民が憩いやすい環境づくりに配慮して村国山の利用を推進してほしい。

質問 住宅支援事業171,655千円について

問・要旨 このうち空家利活用業務委託料4,000千円はまちづくり武生(株)に業務委託し令和5年度に利活用できる空家を調査し、さらに令和6年度に本格的にそれを改修しモデルハウスを造る旨。この取組は今後のまちづくりや移住人口増に効果があると思う。しっかり進めて頂きたい。

質問 環境教育事業13,947千円について

問・要旨 白山の越前市エコビレッジ交流センターでの、コウノトリや農林等々の自然環境教育や交流事業を、新幹線開業を見据え、更に広く発信し参加を呼び掛けてほしい。

質問 雇用促進対策事業4,399千円について

問・要旨 このうちUIJターン就職奨励金2,800千円等の予算は昨年同額で、もっと増やしてもいいのではないか。市としての取組みの意欲が感じられない。

質問 新規就農者支援事業(農業次世代人材投資資金) 3,000千円について

問・要旨 新年度支援決定している就農者以外にも意欲的に取り組み始めている新規就農者や業者が出てきている中で、新幹線開業に向け東京圏への呼びかけや、今後の市独自の支援を期待したい。これに対し、前向きに検討して相談させていただきたい旨。

質問 越前たけふ駅周辺整備推進事業5,000千円について

問・要旨 このうちの(仮称)越前たけふ未来創造基地基本構想策定支援業務4,000千円の内容は検討会で検討中で、委託先はコンサル系の会社に委託の旨。



コメント

ここには、私が数年前から提案している観光客も交流し、越前市の歴史、伝統工芸、文化、自然環境等々の素晴らしさが体感出来、そして子どもたちが越前市の素晴らしさを理解してもらえるようなビジュアル化したものを、是非設置していただきたい。市民と市外県外の方々との交流の場がぜひ必要!!子どもたちの、ふるさとを愛する気持ちを育てるきっかけになるように。

質問 越前市発新事業チャレンジ支援事業7,252千円について

問・要旨 鯖江市との共同事業との事であるが、そこでのデザイナーやクリエイターで開発された新事業、新商品にロゴマークをつけてはどうか。今後研究検討していきたい。

その他の質問項目

質問 農村環境改善センター管理事業205,076千円について

質問 商業活性化支援事業(商業施設等誘客支援事業補助金)2,000千円について

質問 中心市街地活性化事業49,462千円について

現在2期目(会派 郷働)

- ・議会運営委員会委員長
- ・産業建設委員会委員
- ・南越消防組合議会議員
- ・公立丹南病院組合議会議員



議会運営委員会

皆様のご意見をお待ちしております ■自宅 〒915-0836 越前市野上町1-41-2 TEL080-6363-3038 FAX 0778-42-5214
Mail : yumejitugen0778-22-3727@m2.gmob.jp